

「つどい」の7つのシキタリ

その1

席は、**籤引き**。恋が偶然の機会から燃え上がるように、籤で偶然近くに坐った方や「えにし結びたい・む」で出会った方々と、日本を変える「えにし」が結ばれますように。話の糸口になる「名札」①と「えにし結び名簿」を用意しました。

その2

毎回、多彩、豪華な「えにし」の方が登壇してくださいますが、どんなに高名な方でも②、**講演料**ナシ。「志あるフロアの方々の前で話すことができるのは、“**権利**”という理屈からです。せめてのお礼に、ご著書をお買い求めになり、広めてくださいね。もちろん、ご発言の内容も。

その3

登壇は「権利」なので、よほどのことがないかぎり、登壇は「**一生に一度**」だけです。。☆

その4

毎回、**news** が潜んでいます。2013年に登壇してくださった認知症のマサさんシゲさん③のことは、参院厚生労働委員会で取り上げられ、マサさんは2016年、NHKのドラマの主人公になりました。2014年のシンポ「タブーへの挑戦」には、新婚ホヤホヤのレズビアンカップルに登壇していただきました。2年後、渋谷区で同性カップルを結婚相当と認める条例が成立。LGBTがメディアで広くとりあげられるようになりました。認知症への先入観を変えた30人を超える「えにし」の方々を丁寧に取材した生井久美子さんの『ルポ 希望の人びと〜ここまできた認知症の当事者発信』は、発売するやいなや、各紙やフェイスブックで絶賛されています。きょうのシンポジウムにも、**news** がたくさん散りばめてあります。見つけてくださいね。

その5

だれもが参加していただけるように、も motto です。「えにし」を結ぶには、**情報保障**が欠かせません。プロによる**パソコン文字通訳**④や手話、補聴器をつけている方がくっきり聴こえる磁気ループ、目がみえず耳も聴こえない方には指字を用意するのが慣例になりました。介助者から参加費をいただかないのもシキタリです。

その6

「えにし」の集いの motto は前例を破ること。〇〇先生、〇〇局長という上下つばい呼びかけをやめて、さんづけに。昨年、一気に〇〇ちゃんと呼び合うことになりました。**たもちゃん、しんちゃん、まこっちゃん**⑤と呼び合ううちに奇跡が起り、聴こえない、見えない、歩けない3人に、水平の友情が結ばれました。

その7

催しにかかせないのが裏方です。10年間も裏方のプロのワザで支えてくださっていたのは、CLC（本名、全国コミュニティライフサポートセンター）です。その仙台の拠点を震災が襲いました。「ボランティアは乱世に現れる」という法則どおり、国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野の院生・卒業生が立ちあがりました。名簿に☆印がついているみなさんです。★印は特技をもって一肌ぬいでくださっている面々です。

「満員御礼」判定&「えにし結び名簿」ボラ 始まったころは手紙と返信ハガキでしたが、いまはメールで受信。ご自身が記入された公開メルアドにミスがあつて確認メールが戻ってきたり、活動の紹介に力がこもって33文字の制限を超えたりで悪戦苦闘。最終名簿から受付名簿を作成し、名札①をプリントアウト。

映像配信&ツイッターボラ 海外におられる「えにし」の方や当日会場に来られない方から温かいお言葉を頂くのをはげみに、ユーストリームを発信。後日、Youtube で見て頂けるようにアーカイブしています。

プログラムづくりボラ この道のプロの卒業生3人がレイアウトし、印刷はプロに。でも、入稿が遅れると、とたんに値段が跳ね上がるので、ことしも徹夜仕事になりました。**受付・ご案内担当**のふたり⑥は作業療法士の院生・卒業生のペアです。登壇者のご著書の**売り子担当ボラ**、**チラシ封入ボラ**⑦etc. etc. あちこちで活躍しています。**リボン**をつけた裏方ボラをみかけたら、励ましてくださいね。

